



不正を起させない仕組みづくりを目的として導入



株式会社アップル(不動産業)
埼玉県さいたま市大宮区大成町2-273-1
アップルASビル TEL 048-661-7355(代)
<http://apple.estatebank.jp/>

interview

質問
1

導入前の課題は何でしたか？

——— 弊社では、不動産・賃貸物件情報、お客様との契約書など重要な情報を多く持っております。以前から、外部からのネットワーク侵入や、社内でのデータ管理のセキュリティは構築しておりました。しかしながら、データ利用権限者に対するデータの取扱いについて、通達を出してはいたものの、実際は、各従業員の主体性に任せているといった状況であり、社内情報の活用や管理がルール通りに使用されているかを十分に把握することが難しく、すべては「信頼関係」が頼りとなっていました。

質問
2

ルシーダセキュアオフィスを選定いただいたポイントは何ですか？

——— 以前より、様々な情報に対する漏えい対策(セキュリティ強化)の検討を実施していました。そこで我々は、パソコンの稼動履歴、メール送信履歴、Webサイトアクセス情報の把握という点を重点的に管理できる仕組みを探していました。とはいえ、情報漏えい対策をする上で、こればかりにかかりきりになることは主となる業務に影響が出るため、専任の管理者ということではなしに、誰でもが「マウス操作ができるレベルで簡単に操作ができ」かつ「分かりやすく表示される」製品が必要でした。その意味でルシーダセキュアオフィスは、
導入設置が時間をかけず、簡単にできる。
操作がマウスひとつででき、レポートがわかりやすく、管理者の業務への負担が少ない。
機能の幅は持っているが、ローコストで構築できる。
といった点において、我々の要望にマッチした製品であったため、本社及び店舗への導入を決定しました。

質問
3

導入後の感想をお聞かせください。

——— 本社を始め、全店舗へ導入したことにより、身近な現場のマネージャーが従業員のパソコン利用状況を把握しているという状況を作り出したことで、まずは個人個人の情報に対する取扱いの意識向上につながりました。また、ルシーダセキュアオフィスはWebシステムなので、この利用状況を本部のシステム部門でも把握することができるという点は、弊社の組織でも無理なく対応できました。身近なところで監視をされているという意識が、結果として業務の効率化にも少なからず貢献しているのではないのでしょうか。

導入イメージ

